

令和4年度 新吉田地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

担当圏域の65歳以上の高齢者は約6,800人(高齢化率23.8%)で、その73%にあたる約5,000人が新吉田連合地区で、27%である約1,800人は新吉田あすなろ地区である。新吉田あすなろ地区の高齢化率は26.8%で区内トップで新吉田連合地区は22.9%で4位である。新吉田あすなろ地区に位置する新吉田東2丁目(新吉田自治会やパークホームズやイトーピア、フォルム綱島等のマンション群)の高齢化率27.3%で近年、急速に増加している。一方新吉田連合地区は新吉田東8丁目15%~新吉田町30%と高齢化率に幅がある。新吉田東1丁目は24.4%で東5、6丁目は27%代で7丁目は約29%と高い高齢化率が続いております。各連合地区の特性があり、同じ連合地区内でも各町内会単位の特性があり、各町内会単位の支援が必要と考えます。コロナ禍、地域住民による地区活動が鈍化し、地域住民による支え合いネットワーク構築の推進も停滞している。地域住民が安心して地区の活動が再開できるよう、感染への不安に寄り添い、適切な感染予防対策を助言できることが大切と考えます。

新規
継続

— 具体的な取組内容 —

- 地域ケアプラザ機能を地域へ周知し理解されている。様々な地域の活動や会議等積極的に参加して、また、地域の商店や医療機関等にチラシの掲示を依頼したりして、地域ケアプラザ機能を積極的に周知することにより支援が必要な高齢者等が地域で孤立することなく早期に発見するための担い手協力を依頼し、適切な支援が迅速に届けられる地域ネットワーク構築を推進します。
- 地域に潜在している課題を把握して、課題解決に向けて支援が必要な方へ迅速に適正な支援が届けられる。ケアプラザが地域の様々な活動会議等に積極的に参加して、その課題を把握するとともに、地域の力を活用して支援が必要な方を早期に発見するネットワーク、その支援を地域で支えて下さる担い手の発掘します。地域で支え合う、共助の取り組みの継続支援、新たな仕組みづくりを支援します。
- 総合相談窓口体制は輪番制とし、迅速な相談対応に努めます。相談内容に応じた専門職種と連携を図り適正な支援に取り組むことで、地域からの信頼を重ねて参ります。また、個別の課題解決支援を積み重ね5職種間でその情報共有さらに介護保険事業との定期的な情報共有することで、潜在化した地域課題の抽出、その課題解決に向けた取り組みを一体的に行います。
- 地域住民が認知症について正しく理解できている。認知症になっても、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、認知症サポーター養成講座の開催やキャラバンメイト育成支援します。また、地域の徘徊高齢者支援ネットワーク、さがしてネットの事務局を担い、合同模擬訓練をはじめ地域の方々への認知症高齢者への理解を広げ、地域住民による共助の取り組みを支援します。
- 新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えず長期化する中、ケアプラザは地区活動の再開の重要性を発信するとともに、地域住民が少しでも安心して地区活動ができるように、感染への不安に寄り添い、適切な感染予防対策の助言ができるよう努めます。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えず長期化する中、高齢者の認知症やフレイルの相談が増加傾向にあります。これまで地域活動で活躍されていた方々が、この間に総合相談や介護保険事業でお会いするようになりました。この状況から、元気な高齢者が元気で暮らし続けられるための支援を何とかしなければならぬと強く感じました。そこで包括支援センターと生活支援コーディネーターが連携して、元気な高齢者を対象に、元気で暮らし続けられることを目的に、自身の介護予防セルフプランを立案する事業を企画しました。10月に開催した生活支援体制整備協議体の中で、その報告をしました。すると、地域の方から単町会等もっと小さい規模で、今年度より開催してどうかのご提案をいただきました。その一方で、その元気な高齢者を受け入れる活動団体等へ、緩やかにでもその活動の再開、継続することの重要性を発信するとともに、少しでも安心して地区活動の再開、継続できるよう感染への不安に寄り添い、適切な感染予防対策への助言ができるよう努めました。総合相談窓口は輪番制とし、相談員が不在となることなく迅速な対応ができました。コロナ禍、可能な限り様々な地区活動に出向き、地域ケアプラザの機能をご理解いただく機会を持つことで、民生委員やボランティア活動団体等方からの「この方ちょっと心配なの」という相談件数が年々増加しています。子育て支援事業では、サロン等の申し込みをWebでもできるようにしたことで申し込みが増えています。様々な年代方への情報発信、情報共有を目的にラインの活用を検討していますが、現状ではまだ活用には至っておりません。昨年度リニューアルしたホームページの活用を引き続き行い、様々な地域の方へ地域の福祉、保健に係る様々な情報発信に努めて参ります。

区からのコメント

・高齢者の単身世帯、多問題世帯等、疾病やコロナ禍の影響で相談内容は多様化しております。その中で、他機関と連携した支援が進められています。また包括職員の定数が満たない状況でチーム一丸となって取り組み、総合相談窓口の件数が増加している中でも住民からの相談対応を進めていました。
 ・コロナ禍でこれまでは支援に協力していただいた高齢者が、支援が必要になる状況を把握し、地域での生活を元気に過ごすため、セルフプランを主軸とした事業展開を企画されました。今後も引き続き各方面、各職種で連携しながら、住民に寄り添った体制づくり、相談支援、地域支援に取り組まれることを期待します。

令和4年度新吉田ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<ul style="list-style-type: none"> ・総合相談窓口等ケアプラザ業務は、担当職員一人一人の言動を含め、利用者や事業者等から不信を招くことがないよう、公正・中立性を意識を高めた対応をします。 ・介護予防ケアプラン作成委託先の偏りがないうよう努めます。 ・ケアマネジャー選定支援の際には複数の事業所を提示して選択肢があることを相談者にお伝えしたうえで、相談者が選定できるよう支援します。 ・居宅介護支援では、利用者の選択に基づき、提供される居宅サービスが特定の事業所に偏りことなく、適切なサービスが多様な事業所から総合的に提供されるように努めます。 ・部門別アンケートを年1回実施して、その業務の公正・中立性を振り返る機会を持ちます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・委託業者による建物・設備の定期的な保守点検、担当職員による日々の点検により、異常の早期発見し、適切な修繕を実施します。安全・安心な施設利用、サービス提供について、職員一人一人がその意識を高めるため、定期的な会議や日々のミーティング等でひやりはっと等の振り返りする時間を持ちます。 ・ドライブレコーダーの点数化機能を活用とした自己点検等、安全運転意識の向上に努めます。 ・所長は個人情報管理者を担い、法令、法人の個人情報管理規定に基づいた、適切な個人情報管理に関する取り組みを推進します。 ・個人情報の取り扱いについて、職員一人一人が忙しくても、その取扱いルールを守ることが、漏洩防止につながるという意識を高めます。 ・年に1回、個人情報の取り扱いに係る研修及びチェックシートを使った振り返りを実施します。
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・総合相談窓口等ケアプラザ業務は、担当職員一人一人の言動を含め、利用者や事業者等から不信を招くことがないよう、公正・中立性を意識を高めた対応を実施しました。 ・介護予防プラン委託受託してくれる事業所が少ない傾向にあるが、令和4年度は3件の事業所と新規委託契約した。委託契約事業所30件となる。 ・ケアマネジャー選定支援の際には複数の事業所を提示して選択肢があることを相談者にお伝えしました。 ・居宅介護支援は特定事業所集中減算の対象にはならず、適切なサービスが多様な事業所から提供しました。 ・部門別のアンケートを10月に実施して、その結果は概ね良好であったと振り返りをしました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・EVの制御盤改修工事を実施。委託業者と担当職員による定期的な点検により、事業執行に支障となる事故はなかった。 ・送迎車両のみならず、相談職が使用する車両3台にもドライブレコーダーを装着し、自身の運転が点数化されて見えるようになり、安全運転意識が高まった。 ・車両を送迎する際のアルコールチェックを開始しました。 ・書類郵送手順、FAX送信手順のダブルチェックについて、形骸化する事無いよう職員一人一人がその意識を高め、個人情報の漏えい事故はありませんでした。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	その方が持つ能力や思い等、その方の特性を踏まえた生活機能向上を目標としたケアマネジメントを実施し、地域のインフォーマルサービス等多様なサービスの中からご自身で選択できるよう支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ・その方が可能な限り居宅において、その有する能力に応じて、自立した日常生活を営むために必要な居宅サービスが適切に利用できるよう、ケアプランを作成するとともに、当該計画に基づいて適切な居宅サービスの提供が確保できるよう、連絡調整します。 ・地域ケアプラザの居宅介護支援事業所であることを自覚し、丘の上倶楽部等でのリーダーシップを積極的に担い、地域の質の高いケアマネジメントを目指し、またその方が住む地域の社会資源開発に資する取り組みをして参ります。
利用料金・実費負担	<ul style="list-style-type: none"> ・法定代理受領サービスである場合は、ご利用者負担(利用料)はありません。 ・通常のサービス提供地域を越える地域に訪問・出張する必要がある場合は、その旅費(実費)の負担をお願いすることがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法定代理受領サービスである場合は、ご利用者負担(利用料)はありません。 ・通常のサービス提供地域を越える地域に訪問・出張する必要がある場合は、その旅費(実費)の負担をお願いすることがあります。
職員体制	管理者1名(社会福祉士) 主任介護支援専門員1名 保健師1名 社会福祉士1名 介護支援専門員(非常勤) 1名	管理者1名(主任介護支援専門員) 介護支援専門員4名(うち主任介護支援専門員3名)
契約者数	229名(うち外部委託113件)	145名

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆったりとした空間の中でご自身で楽しみが見つけれられるよう支援します。 ・日常生活動作の一つ一つがリハビリと捉え、残された力で生活の喜びと自信を感じられるよう支援します。 ・職員やご利用者同士で安心して過ごせる社会交流の場を提供します。 ・個別ニーズに柔軟に対応した適切サービス提供に努めます。 ・食前の口腔体操、食後の口腔ケアの励行、お食事の形態への配慮等に対応し、誤嚥性肺炎の発症防止に努めます。 ・介護者が安心できる介護者負担軽減に資するサービス提供に努めます。 		
実施体制	【実施日数】 週6日(日曜日休業) 【提供時間】 介護9:00~16:00(7時間) 予防10:00~15:00(5時間) 【定員】 35名(一体型)	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金 ・ 実費負担	<ul style="list-style-type: none"> ・法令等により定められた基準によるものとし、利用者ごとに保険者が判定した負担割合に応じて徴収します。 ・昼食代・おやつ代(750円/食) ・キャンセル料(食材料費代 500円) 		
職員体制	管理者1名 生活相談員3名 看護職員(機能訓練員兼務)4名 介護職員14名 送迎職員8名 事務職員1名		
契約者数等	【延べ利用者数】 7,311名 【契約者数】 88名	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和4年度「新吉田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	19,190,000		20,683,630	20,683,630	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	70,000	△ 42,250	27,750	27,750	0	さわやかクラブ参加費
横浜市による運営支援	0	275,000	275,000	275,000	0	物価高騰の影響を踏まえた横浜市による運営支援
雑入	0	5,262	5,262	5,262	0	
印刷代				0	0	
自動販売機手数料				0	0	
その他		5,262	5,262	5,262	0	コピー代
その他				△ 386,110	386,110	修繕費戻入金
収入合計	19,260,000	1,731,642	20,991,642	20,605,532	386,110	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	13,482,062	△ 1,200,000	12,282,062	8,194,865	4,087,197	
本俸	7,500,000	△ 1,200,000	6,300,000	4,742,188	1,557,812	給与本俸
社会保険料	1,600,000		1,600,000	877,874	722,126	健康保険料、厚生年金料、雇用保険料、労災保険料
手当計	4,000,000		4,000,000	2,256,766	1,743,234	期末手当、超過勤務手当、通勤手当等
健康診断費	40,000		40,000	22,620	17,380	健康診断料
勤労者福祉共済掛金	10,000		10,000	14,685	△ 4,685	ハマフレンド会費
退職給付引当金繰入額	100,000		100,000	95,500	4,500	
その他	232,062		232,062	185,232	46,830	医療福祉機構退職共済掛金
事務費	849,390	0	849,390	1,484,394	△ 635,004	
旅費	10,000		10,000	20,688	△ 10,688	市内出張交通費
消耗品費	69,390		69,390	224,672	△ 155,282	事務消耗品費
会議随費	5,000		5,000	5,927	△ 927	会議用品費
印刷製本費				0	0	
通信費	200,000		200,000	322,069	△ 122,069	FAX・電話代、後納郵便代、切手代等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）				0	0	
その他				0	0	
備品購入費				109,780	△ 109,780	
図書購入費				0	0	
施設賠償責任保険	100,000		100,000	35,302	64,698	指定管理総合賠償保険、総合賠償保険
職員等研修費	15,000		15,000	14,101	899	研修用交通費、受講費等
振込手数料	50,000		50,000	29,302	20,698	振込手数料
リース料	150,000		150,000	147,108	2,892	民間マシ、AED、Wi-Fi機器、空調システム、防災カーテン、プリンタ等リース料
手数料				0	0	
地域協力費				0	0	
その他	250,000		250,000	575,445	△ 325,445	保健衛生費、委託費、広報費、損害保険料、会費当
事業費	1,382,083	0	1,382,083	263,400	1,118,683	
運営協議会経費	42,000		42,000		42,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	1,340,083		1,340,083	263,400	1,076,683	
その他				0	0	
ICT整備費(追加)	165,000	165,000	330,000	165,000	165,000	
ICT整備費	165,000	165,000	330,000	165,000	165,000	
オンライン相談機器整備費（追加）	0	0	0	0	0	
オンライン相談機器整備費（追加）（モデル実施対象施設）				0	0	
サニタリーボックス(追加)	25,000	25,000	50,000	4,970	45,030	
サニタリーボックス	25,000	25,000	50,000	4,970	45,030	
エレベーター制御盤交換修理工事(追加)	0	1,303,630	1,303,630	1,303,630	0	
エレベーター制御盤交換修理工事		1,303,630	1,303,630	1,303,630	0	エレベーター制御盤交換修理工事費
管理費	3,002,465	0	3,002,465	3,782,173	△ 779,708	
光熱水費	1,200,000		1,200,000	1,240,400	△ 40,400	電気、ガス、水道料金
清掃費	700,000	△ 500,000	200,000	253,359	△ 53,359	定期清掃委託分
機械整備費				0	0	
設備保全費	502,465	1,000,000	1,502,465	2,180,147	△ 677,682	
空調衛生設備保守	162,465		162,465	83,270	79,195	空調保守点検等
消防設備保守	80,000		80,000	73,450	6,550	消防設備点検等
電気設備保守	220,000		220,000	153,027	66,973	エレベーター、自動ドア保守点検等
害虫駆除清掃保守	20,000		20,000	13,727	6,273	害虫駆除費
直営系館内清掃業務		1,000,000	1,000,000	1,847,893	△ 847,893	直営系清掃業務欄追加
その他保全費	20,000		20,000	8,780	11,220	水質検査等
共益費				0	0	
その他	600,000	△ 500,000	100,000	108,267	△ 8,267	一般廃棄物処理費、植栽管理費等
修繕費	474,000	0	474,000	87,890	386,110	予算：指定額
公租公課	0	1,200,000	1,200,000	1,146,700	53,300	
事業所税				0	0	
消費税		1,200,000	1,200,000	1,146,700	53,300	消費税追加
印紙税				0	0	
その他				0	0	
その他				0	0	
支出合計	19,190,000	0	19,190,000	16,433,022	2,756,978	
差引	70,000	1,731,642	1,801,642	4,172,510	△ 2,370,868	

自主事業費 収入	70,000	△ 42,250	27,750	27,750	0	自主事業への参加費
自主事業費 支出	1,340,083	0	1,340,083	263,400	1,076,683	自主事業経費
自主事業 収支	△ 1,270,083	△ 42,250	△ 1,312,333	△ 235,650	△ 1,076,683	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

令和4年度「新吉田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

(単位:円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	30,314,000	348,535	30,660,535	30,660,535	0	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000		5,802,000	5,802,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】		11,000	11,000	11,000	0	粋な男の料理教室参加費
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	△ 3,234,007	3,234,007	人件費、協力医、修繕費戻入金
収入合計	36,270,000	357,535	36,627,535	33,393,528	3,234,007	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	32,751,508	0	32,751,508	29,147,570	3,603,938	
本俸	26,792,508	△ 7,981,398	18,811,110	15,628,946	3,182,164	給与本俸 手当分を補正
社会保険料	5,284,000	△ 1,088,261	4,195,739	3,767,378	428,361	健康保険料、厚生年金料、雇用保険料、労災保険料、退職給付引当金額、その他～補正
手当計	600,000	7,981,398	8,581,398	8,581,398	0	期末手当、超過勤務手当、通勤手当等
健康診断費	40,000		40,000	39,872	128	健康診断料
勤労者福祉共済掛金	35,000		35,000	41,715	△ 6,715	ハマフレンド会費
退職給付引当金繰入額		394,618	394,618	394,618	0	
その他		693,643	693,643	693,643	0	医療福祉機構退職共済掛金
事務費	629,055	0	629,055	2,471,699	△ 1,842,644	
旅費	35,000		35,000	13,142	21,858	市内出張交通費
消耗品費	100,000		100,000	190,569	△ 90,569	事務消耗品費
会議ठीい費	5,000		5,000	0	5,000	会議用品費
印刷製本費			0	0	0	
通信費	250,000		250,000	453,882	△ 203,882	FAX・電話代、後納郵便代、切手代等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険			0	17,452	△ 17,452	指定管理総合賠償保険、総合賠償責任保険
職員等研修費	10,000		10,000	83,893	△ 73,893	研修用交通費、受講費等
振込手数料	10,000		10,000	21,216	△ 11,216	振込手数料
リース料	109,055		109,055	461,938	△ 352,883	AED、会計システム、プリンタ、パソコン等リース料
手数料			0	0	0	
地域協力費			0	0	0	
その他	110,000		110,000	1,229,607	△ 1,119,607	保健衛生費、委託費、広報費、損害保険料、会費等
事業費	1,978,694	0	1,978,694	488,082	1,490,612	
協力医	630,000		630,000	231,000	399,000	予算:指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	1,076,694		1,076,694	58,997	1,017,697	予算:指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	164,765	△ 10,765	予算:指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	118,000		118,000	33,320	84,680	予算:指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0	0	0	予算:指定額
その他			0	0	0	
エレベーター制御盤交換修理工事(追加)	0	346,535	346,535	346,535	0	
エレベーター制御盤交換修理工事		346,535	346,535	346,535	0	エレベーター制御盤交換修理工事費
管理費	784,743	0	784,743	1,199,082	△ 414,339	
光熱水費	504,743		504,743	329,726	175,017	電気、ガス、水道料金
清掃費	70,000		70,000	67,346	2,654	定期清掃委託分
機械警備費			0	0	0	
設備保全費	150,000	0	150,000	773,231	△ 623,231	
空調衛生設備保守	40,000		40,000	22,133	17,867	空調保守点検等
消防設備保守	20,000		20,000	19,520	480	消防設備点検等
電気設備保守	80,000		80,000	40,675	39,325	エレベーター、自動ドア保守点検等
害虫駆除清掃保守	5,000		5,000	3,648	1,352	害虫駆除費
直営系館内清掃業務費			0	684,922	△ 684,922	直営系清掃業務増追加
その他保全費	5,000		5,000	2,333	2,667	水質検査等
共益費			0	0	0	
その他	60,000		60,000	28,779	31,221	一般廃棄物処理費、植栽管理費等
修繕費	126,000		126,000	23,359	102,641	予算:指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	36,270,000	0	36,270,000	33,329,792	2,940,208	
差引	0	357,535	357,535	63,736	293,799	

自主事業費 収入	0	11,000	11,000	11,000	0	
自主事業費 支出	1,348,694	0	1,348,694	257,082	1,091,612	
自主事業 収支	△ 1,348,694	11,000	△ 1,337,694	△ 246,082	△ 1,091,612	

管理許可 目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可 目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可 目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

令和4年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:新吉田地域ケアプラザ

4年4月1日～ 5年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	3,000	3,533	-533	3,000	2,939	61	23,500	23,041	459	48,500	51,163	-2,663	4,000	3,332	668
	その他	2,400	2,303	97	3,000	3,337	-337	30	678	-648	11,700	13,523	-1,823	1,200	1,281	-81
	介護予防プラン委託料	2,400	2,303	97	3,000	3,277	-277			0			0			0
	認定調査委託費			0			0	30	391	-361			0			0
	利用者負担金収入			0			0			0	5,800	6,532	-732	700	725	-25
	利用者食費収入			0			0			0	5,000	5,003	-3	500	556	-56
	介護保険対策支援金・包括改善支援補助金			0		60	-60		60	-60		1,021	-1,021			0
	その他			0			0		227	-227	900	967	-67			0
	収入合計(A)		5,400	5,836	-436	6,000	6,276	-276	23,530	23,719	-189	60,200	64,686	-4,486	5,200	4,613
支出	人件費	200	200	0	450	594	-144	19,690	19,401	289	45,450	50,825	-5,375	5,050	5,647	-597
	事務費			0	70	55	15	1,830	1,174	656	2,484	5,337	-2,853	376	592	-216
	事業費			0	60	0	60	510	255	255	6,030	6,439	-409	670	715	-45
	管理費	50		50	40	0	40	490	505	-15	7,050	9,124	-2,074		1,013	-1,013
	その他	2,400	2,303	97	3,000	3,277	-277	80	0	80	980	2,047	-1,067	0	0	0
	介護予防プラン委託料	2,400	2,303	97	3,000	3,277	-277			0			0			0
	利用者外給食費			0			0			0	900	967	-67			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	減価償却費			0			0	80		80	80	1,080	-1,000			0
支出合計(B)		2,650	2,503	147	3,620	3,926	-306	22,600	21,335	1,265	61,994	73,772	-11,778	6,096	7,967	-1,871
収支 (A)-(B)		2,750	3,333	-583	2,380	2,350	30	930	2,384	-1,454	-1,794	-9,086	7,292	-896	-3,354	2,458

令和4年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども 青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	はぐピョン	2004年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	安心して子どもを遊ばせることができる場の提供と保護者の交流・情報交換のための場の提供。また、読み聞かせや保育ボランティア育成のための機会として開催している。	3:養育者及び乳幼児		毎月第2月曜日と第4木曜日の10時～13時にケアプラザの多目的ホールを開放して行なう遊び場。ボランティア等による手遊び、季節のイベントなど開催。	24	352
2	デイのいわ	2019年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	デイサービスの花壇をお手入れをきっかけに、様々なボランティア活動につながったり、要介護状態の高齢者のことを知っていただき、地域包括ケアを担う人材の発掘と育成をする。	5:地域		月に2回定期的な花の植え替えや世話をを行う。季節の花や野菜など、デイサービスのご利用者様に喜んでもらえるように計画。また、趣味を通して地域の方が交流できる場を提供し、園芸活動以外にも関心を持っていただけるよう支援	7	12
3	園芸ボランティア「みらい」	2001年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	植栽の手入れを通じたボランティアの育成と団体支援。	1:高齢者		施設内の植栽の手入れなどの美化活動および、デイサービスの園芸活動のサポート。また、近隣の単身高齢者宅の草刈り、庭木の手入れ。主には第1水曜日・第3水曜日に活動。	23	165
4	はつらつ倶楽部	2016年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	近隣の元気高齢者に対し、デイサービスで積み上げたノウハウを活かしながら、健康寿命延伸のための運動プログラムと脳トレプログラムを提供する。	1:高齢者		月に1回、介護保険を使っていない65歳以上の高齢者に集まっていたり、ロコモティブシンドローム予防プログラム、ドリルなどの問題集を取り組んでいただく。バスポイントからの送迎を行う。	12	92
5	さわやかクラブ	2005年	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	高齢者転倒骨折予防体操を定期開催することによる、介護予防と交流を目的とする。	1:高齢者		新田地区センターにおいて、毎月第1・3月曜日の10時～11時30分に行なう転倒骨折予防体操。年1～2回程度のお楽しみ会を開催。	24	556
6	新田クラブ	2002年	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	介護予防のミニサービスとして開催。手芸や囲碁、将棋、麻雀など趣味活動を通じた仲間づくりを行い、高齢者の閉じこもりを予防する。また、ボランティア育成の場としても支援を行う。	1:高齢者		新田地区センターにおいて毎月第1・3水曜日13:30～15:00に開催。	24	168
7	さわやか北部体操	2006年	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	新吉田北部町内会の保健活動推進員による転倒骨折予防体操会。	1:高齢者		新吉田北部町内会館において、月2回第2・4金曜日の10時～11時30分に行なう転倒骨折予防体操会。年2～3回程度の交流イベントなどを開催	21	211
8	さわやかクラブ虹	2002年	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	転倒骨折予防体操。ボランティアグループ虹を中心として運営。	1:高齢者		新田地区センターにおいて、月2回第2・4木曜日の10時～11時30分に開催。年2～3回程度のお楽しみイベントを開催。	22	346
9	GOGO健康！元気づくり教室	2019年	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域の元気高齢者に介護予防やご自身の健康について関心を持っていただき、地域の皆さんの健康寿命の延伸を目指す講座。	1:高齢者		週1回連続4回の講座。スローエアロビクを取り入れ自宅でも気軽にできる全身ストレッチやフットケアなどを紹介。毎回ロコモティブシンドローム予防講座を行い、栄養改善・口腔ケア講座は1回ずつ実施。5月の毎週金曜日の開催。	4	33
10	特な男の料理教室	2011年	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	男性向けの講座。料理を通して自身の健康に興味を持って頂くだけでなく、退職後の元気な男性が地域活動をスタートさせるきっかけとなり、地域活動が活発になることを目的としている。	1:高齢者		コロナ禍のため定員を減らし個々で完結する形で実施。調理するメニューの食材選択の意味(栄養バランス)についてミニ講義を取り入れている。盛り付けはそれぞれ考えて行なうため、脳トレも兼ねている。今年度は8月、11月、3月に実施	3	22
11	介護者のつどい	2011年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護者たちが集まって悩みを話し合い、情報交換をしたり、日頃の介護疲れをリフレッシュしていただくことが目的。	5:地域		奇数月の第2木曜日13時30分～14:30(60分)ケアプラザで開催。介護をしている方、介護経験のある方を対象に茶話会方式で行っている。「介護を考えるぶどうの会」様と区役所職員が毎回参加。	5	20

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども 青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
12	あすなる会館 出張講座&相談会	2018年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	新吉田地域ケアプラザが担当地域エリアの高台に位置しており、交通の便が悪く、高齢の方に来所していただくには厳しい急坂があることやケアプラザの周知が課題としてあった。地域の相談機関としてケアプラザの存在と役割を知っていただく為、地域の会館をお借りして出張講座と相談会を開催することとした。	5:地域		毎月第3金曜日10時～12時新吉田あすなる連合町内会のご協力を得て、あすなる会館で開催。昨年度に引き続き地域の方向けに出張講座を開催。希望者については個別に講座終了後相談を受けるかたちとした。ケアプラザ職員が地域に出向き、毎回テーマを決めて講座を行う。1回目はデイサービス職員による「コグニサイズ」、2回目は包括職員による「高齢者の住まい」、3回目は1回目と同じくデイサービス職員による「コグニサイズ」、4回目は包括保健師による体力測定を予定している。制作したのぼり旗を今年度も設置し、地域のよろず相談窓口としての新吉田地域ケアプラザの周知も引き続き図っていく。	4	14
13	特な男の健康講座	2014年	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	男性をターゲットに絞った、介護予防のための健康体操と栄養・口腔ケアの講座	1:高齢者		7月～2月まで全8回の講座。今年度は新たに運動講師を迎える。キックやリズム体操を取り入れた、男性向けに筋力アップをうたった内容の体操1回ずつ予定している。また、栄養講座と口腔ケア講座も1回ずつ実施。	8	47
14	医者が教えるPPK生活の秘訣	2017年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の方向けに介護予防の講座を例年開催。協力医の荏原千登里先生とテーマを決めている。	5:地域		年1回11月下旬ごろ開催予定。	1	24
15	保健福祉セミナー介護予防講座	2015年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	例年、新吉田地区保健活動推進員と共催で保健福祉セミナーを開催している。毎年、地域の皆さま向けにどのような講座を実施するか、打ち合わせのもとテーマを決定している。	7:その他		年1回11月頃実施予定。	1	33
16	港北区版高齢者虐待ハンドブック研修	2017年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	港北区版高齢者虐待ハンドブックの周知と活用の仕方について事業所向けに研修を行う。	6:事業者		年1回事業所向けに実施する予定。	1	14
17	生き活講座	2020年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	昨年度に引き続き、今の人生を自分らしく生きる「生き活講座」を開催。成年後見制度の案内・エンディングノートの書き方講座を行う予定。	5:地域		年1回10月ごろ開催予定。	1	16
18	共生まつり	1995年	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	近隣の方へケアプラザや福祉について啓発するとともに、ケアプラザとかかわりのある活動団体のボランティア実践の場や、趣味活動団体の作品発表の場とする。	5:地域		10月に実施予定。法人内の施設と共催。	0	0
19	ボランティアやってみようと思ったけれど	2022年	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	ボランティア活動に関心はあるが、コロナ禍でもあり、躊躇している方に対する、きっかけづくり	7:その他		港北区福祉活動拠点において7月に区内のケアプラザ、港北区役所、港北区社協の共催で開催	1	18
20	認知症サポーター養成講座	2020年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、認知症サポーターを一人でも多く増やすため、地域のキャラバンメイトとともに開催し、地域の方へ普及啓発を行う。	5:地域		9月3日14:00～15:30に、新田地区センター共催にて開催。認知症の基礎知識の講義と、寸劇にて港北区と新吉田地域での認知症の取り組み(かえるネット、さかしてネット)について説明を行った。	1	22
21	体操ボランティア育成講座	2014年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	体操リーダー養成講座として開催。参加者から、ケアプラザ主催の体操会や地域の体操会で活動してくれるボランティアを募集する。	5:地域		5日間でストレッチや筋トレの講義と実践を行う。グループで体操のプログラムを構成して、参加者の前で披露する。	5	19